

日時・場所	平成28年5月23日（月） 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、川端教育長、寺田政策調整部長、大藤政策調整部政策監、遠藤総務部長（代理：竹村次長）、上田市民部長、瀬川健康福祉部長、辻村健康福祉部政策監、小山都市建設部長、白井環境経済部長、藤池教育部長、野玉会計管理者、服部広報秘書課長、事務局（企画調整課）

## 1. 市長指示事項

- ・ いつも指示していることの繰り返しになるが、仕事を進めるにあたり、最終形を整理しておくこと。頭の中でイメージするだけでなく、共有化できるように、文章化・図式化しておくこと。なお、最終形は、仕事を進める中で協議しながら必要に応じて修正等をすればよい。過去の経緯を示した資料がすぐに出てこない場合があり、常に全ての情報を記録する必要はないが、問題等が発生したときには、最大限、過去の判断、手続き等の経緯を文章化・図式化した資料をもとに議論する必要がある。このことを踏まえ、文章化・図式化による情報の共有化は当たり前のこととして行うこと。
- ・ 今月2日に市内の事業所から油類が工場内に漏れ、水路を通過して公共水域に入ったとの報告があった。地元からは水田に入ったとの話も聞いている。マスコミ発表したのは5月20日であり、あまりにも遅すぎる。幸い大きな事故にはならなかったが、本来、事業所外へ漏れてはいけない化学物質により公共水域が汚染されたのであれば、大きな責任問題になる。原因究明等も必要だが、まずは事象を速やかに公表して市民と共有化しなければならない。先日、野洲駅南口駅前広場エレベーターの故障による閉じ込め事故があり、即日マスコミ発表をしたが、同様に速やかかつ的確に対応すること。

## 2. 報告事項

### ① 平成28年度の広聴制度等の対応について

〔所管： 政策調整部〕

平成28年度の広聴制度等における事務処理の流れについて報告する。各部の回答案作成時においては、事務の効率化及び総花的な回答を改善することを目的に、各部長が回答方針を定め、各所属長に伝達し、各所属長の責任のもと回答案の作成を行うよう事務処理手続きを変更した。回答案については、各部長が責任をもって内容を把握しておくこと。

→「市長への手紙」だが、「市」への手紙として組織で対応する意識を持つこと。

→回答は制度の説明等、的確かつシンプルに事実を述べるのが基本になる。論点を明確にしたうえで、回答案の方針を協議すること。

### ② アキレス(株)の油類漏えい事故について

〔所管： 環境経済部〕

5月2日（月）11時45分頃、アキレス(株)滋賀第一工場内において、機器の劣化等により、可塑剤（DOP）1.7リットルが漏えいし、その内、0.5リットルが工場外の水路へ流出した。流出した可塑剤（DOP）は、同日中に当事業所がほぼ回収した。事故直後、アキレス(株)、市環境課、水田所有者による目視では、当該水路から取水している水田に油膜がないことを確認した。今後、事故防止対策を講じるよう指導した。

→水質の分析、流出した水路の位置等を明確にするとともに、問題となっている物質の情報も正確に把握する必要がある。

→報告や対応が遅いので、再発防止に向け不安が残る。情報が十分に整理できていない部分があり、責任を持って事実を確認すること。水田に油類が入ると作物に大きな影響を与えることから、水質事故は深刻であるという意識を持つこと。

→水質事故時の対応マニュアルがあるはずなので、今回の対応についてマニュアルと照らし合わせて検証すること。

## 3. 協議事項

なし

## 4. その他伝達事項

- ・ 26日に市議会定例会が開会されるので、各部対応を願う。

## 5. 次回部長会議

5月30日（月）8時45分～ 庁議室